



富陽小学校の子どもたちの学力・学習状況は？

4月に実施された県基礎学力調査(4・6年生)及び全国学力・学習状況調査(6年生)の結果と今後の指導の重点等についてお知らせします。

(4年生は国語・算数の2教科, 6年生は国語・算数・社会・理科・英語の5教科を実施しました)

国語について

4年生

- 概ね良好・・・漢字・ローマ字の読み書き, 修飾語を見つける, 話の中心を見つける
- もう少し・・・説明的文章の内容の整理, 指示語が示すものを見つける, 話す時の間を取る意味を考える

6年生

- 概ね良好・・・メモを見てどのように整理したのかを選ぶ, 物語の心に残ったところと理由の記述
- もう少し・・・条件に合わせて文章の内容をまとめる, 二人が対話した内容を読み理由を見つける



自分の考えを条件に合わせて記述し, 友達に伝えることができるようにする

算数について

4年生

- 概ね良好・・・基本的な計算, 説明に合う立体を選ぶ, 長さのたし算・単位換算
- もう少し・・・円を利用してできる三角形の説明, グラフの読み取りを根拠とした正しくない理由の説明

6年生

- 概ね良好・・・円グラフの読み取り, 問題場面を表す式を選ぶ, わる数と商の大きさの関係を選ぶ,
- もう少し・・・速さに関する問題, 球の直径から箱の体積を求める, データから開花予想日を求める



問題文と式を結び付け, どうしてこの式にしたのかを説明できるようにする

社会について

- 概ね良好・・・石川県で一番長い川, 兼六園がある市, 水産物にあてはまらないものを選ぶ
- もう少し・・・2つの資料を見て理由を記述する, 火事の時に消防署と連携する地域組織の名前



資料を読み取った後に, 何がキーワードなのかを問い, 自分の考えやまとめにキーワードを用いて表現することができるようにする

理科について

- 概ね良好・・・方位を調べる器具の名前, 日光により一番あたたかくなる場所, グラフから食塩を選ぶ
- もう少し・・・電気・電流に関する問題, 物の体積と重さとの関係を選ぶ, 雨の日のグラフを選んだ理由を書く

実験や観察から考察をする際に、注目する結果は何かを問い、重要な言葉や数値を用いて表現することができるようにする

英語について

- 概ね良好・・・二人の会話の聞き取り(気分、家事の手伝い)、何が好きかの聞き取り
- もう少し・・・音声によるアルファベットを聞き取って4線上に記述する、物の場所の聞き取り

設定した場面に応じた、やり取りや発表ができるようにする
授業で慣れ親しんだ言葉や表現を 4 線上に記述できるようにする

学習指導要領では、これからの急速に変化する社会の中で、自ら課題を見つけ、他者とかかわり合いながら主体的に課題を解決することが求められています。それには、自分の考えを表現する力が重要となってきます。今後とも家庭と学校とが手を携えて子どもたちを支えていけるように、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6年生質問紙調査での大まかな傾向

「自分にはよいところがある」

肯定的に答える児童が多かったです。今の時代、多様性を認め合うことが社会において重要なこととなっています。そのような中で、この質問に肯定的に答えた児童が多いのは、とても素晴らしいことです。今後も、多様な考えを尊重する大切さを伝えていきたいと思います。

「自分と違う意見について考えるのは楽しい」

肯定的に答える児童が多かったです。今の時代、多様性を認め合うことが社会において重要なこととなっています。そのような中で、この質問に肯定的に答えた児童が多いのは、とても素晴らしいことです。今後も、多様な考えを尊重する大切さを伝えていきたいと思います。

「ICT 機器を使うと自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」

肯定的に答える児童が多かったです。富陽小では積極的に、一人一台端末を使った学習をしてきました。今では、先生が指示しなくても、自分が必要だと感じたときに ICT 機器を使い、より深く理解するために活用するようになってきました。

「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」

肯定的に答える児童が多かったです。富陽小学校の学校教育目標は「自ら考え、実践する子」です。6年生は、この姿を具現化しようと、一人一人が授業の課題解決に向けて一生懸命に考えています。難しい課題でも、友達と協力し、前向きに取り組んで考える姿が見られます。

「将来の夢や目標を持っている」

肯定的に答える児童がやや少なかったです。長いコロナ禍を経て、児童の中に将来に対する漠然とした不安が広がっているのかもしれませんが。富陽小では、6年生で様々な職業の方のお話を聞く機会があります。児童が前向きな気持ちで社会に羽ばたけるよう、将来について考える時間をより一層充実させていきます。

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」

肯定的に答える児童がやや少なかったです。子どもたちには、様々な相談の方法(相談ポスト、スクールカウンセラー、電話相談等)について、放送・集会等で繰り返し伝えていきます。また、職員一同、あたたかい雰囲気子どもたちと関われるよう、一層励んでいきます。